

新型コロナウイルス感染症に対する事業活動等の基準

本学は、新型コロナウイルス感染症における事業活動等の対応について、下表の「新型コロナウイルス感染症に対する事業活動等の基準」のとおり指針を定める。
この基準におけるレベル判断は、大阪府新型コロナウイルス対策本部会議に基づく「大阪府からの要請内容」に従い、本学の対策本部会議において決定する。

レベル (想定する状況)		授業	研究活動	行事・イベント	学生のキャンパス入構と施設利用	課外活動	施設貸出	食堂・売店業者の営業
0	平常時	通常どおり	通常どおり	通常どおり	通常どおり	通常どおり	通常どおり	通常どおり
1	制限 — 弱 (散発的感染発生)	感染防止に留意しつつ、学部、大学院とも、原則対面授業を実施する。	感染防止に留意しつつ、通常どおり研究活動を行うことができる。	感染防止に留意しつつ、実施することができる。	感染防止に留意しつつ、通常の入構、施設利用が可能とする。	感染防止に留意して活動を認める。	貸与先に感染拡大防止措置を講じるように求めたうえで貸出を認める。	業種別（飲食業）ガイドラインを遵守し、感染拡大防止措置を講じるように求めたうえで営業を依頼する。
2	制限 — 中 (感染急増)	学部、大学院とも、感染防止に留意しつつ、対面授業を基本とするが、遠隔授業も行うことができる。	学内施設を使用した研究活動は、感染拡大防止に最大限留意しつつ行うことができる。	実施場所を管轄する都道府県が定める開催要件や文部科学省のガイドラインに基づき実施することができる。	感染防止に最大限留意しつつ、入構や施設利用を可能とする。ただし、各部署の状況に応じて、施設利用制限を行う場合がある。	行政機関からの要請を参考のうえ、感染防止に留意して活動を認める。	外部への貸出は不可（学生の進路に関わる国家試験、検定試験、公務員採用試験等は貸出を認める）	座席の間引き増加や営業時間の短縮等を依頼する。
3	制限 — 強 (感染爆発)	原則は遠隔授業のみとする。感染拡大防止に最大限留意することを前提に学部・研究科の判断により対面授業を一部実施することができる。	学内施設を使用した研究活動は、感染拡大防止に最大限留意しつつ行うことができる。ただし、学生の研究室入室は禁止し、研究従事者の人数、研究施設の滞在時間は、最小限に留める。	原則、対面の行事・イベントは中止又は延期する。	入構は原則禁止する。施設利用は特段の理由があり、認められた場合以外は利用不可とする。	感染防止に十分留意し、最小限の活動以外認めない。	学内者への貸出は、感染拡大防止に最大限留意しつつ行うことができる。	営業は認めない。
4	制限 — 最大 (ロックダウン等 非常事態)	遠隔授業のみ行う。	学内施設を使用した研究活動は原則として禁止する。	対面の行事・イベントは中止又は延期する。	入構を禁止する。	活動を禁止する。	外部、学内者とも貸出不可	

注1 この基準の取扱い期限は、治療薬等が普及して国際的な感染増加が止まり、感染拡大前の状況（国・地域との人の往来が再開される）に戻るまでとする。